

# 特定外来生物 クビアカツヤカミキリ にご注意を!

クビアカツヤカミキリはサクラ、ウメ、モモなどの木の内部を食い荒らし、樹木を枯らしてしまうこともある特定外来生物です。繁殖力が非常に強く、早期発見、防除対策が重要です。成虫や被害を見つけたら、お住まいの市町村もしくは県景観・自然環境課へ情報提供いただくとともに、駆除などのご協力をお願いします。

詳しくは  
景観・自然環境課  
ホームページまで



クビアカツヤカミキリの  
情報提供は  
奈良スーパーアプリから  
お願いします!



## クビアカツヤカミキリ

体長約2.5~4cm、首が赤く、体全  
体にツヤのある黒いカミキリムシ。

### 1 クビアカツヤカミキリの被害に あった木

- 木の根元などにフ拉斯がたまっている
- 被害を受ける樹種はサクラ、ウメ、モモ、スモモ、ハナモモ、リンゴ、アーモンドなどバラ科樹木。(カキやイチジクの木には入らない。)



### 2 クビアカツヤカミキリ のフ拉斯

- 幼虫は木の内部を食い荒らし、大量のうどん状のフ拉斯(木くずと糞が混ざったもの)を木の外に出しながら2~3年過ごし、5~8月頃に成虫となって樹木の外に出て産卵する。



### 3 対処例

- 被害が出た木へは、
- フ拉斯穴から幼虫を掘り出す
  - カミキリムシ用のスプレー剤を注入するなどの防除方法があります。
- ※木の所有者や管理者の許可なく処置してはいけません。



### 4 奈良県クビアカツヤカミキリ 確認マニュアル

- クビアカツヤカミキリの防除の詳細は、「奈良県クビアカツヤカミキリ確認マニュアル」をご覧ください。

詳しくは  
こちら



## 注意!被害木の伐採について



木を切った後は、速やかに焼却、もしくは破碎処理などが必要です。

処分方法は自治体ごとに異なりますので、お住まいの市町村へお問い合わせください。

- 伐採した被害木を放置すると、木の中の幼虫が死滅しないため、成虫となり他の木に産卵する恐れがあります。
- 運搬時には幼虫が落ちたり成虫が飛んでいかないように包んだり、幌を掛けるなどの対策が必要です。



お問い合わせ先  
はこちら